

同志社大学では、プロジェクト科目(全20~25科目)を2006年度から開講しています。本科目の最大の特徴は、テーマの公募制と全学設置の教養教育PBLにあります。

PBL : Project-Based Learning

# PBLの 原理と 応用

—公募制・教養教育PBL同志社大学  
プロジェクト科目を中心に—

今回は、これまでの実践を踏まえて、PBLにおけるプロジェクトの重層構造(プロジェクト遂行プロセスとコミュニティ形成プロセス)、評価を内在したプログラムとしてのPBL、プロジェクトを通して学び方を学ぶPBL(「知識・技法・態度」の学習)、研究のサイクル(調査・企画・立案・計画・実行・省察)を学生が回すPBL、リアリティーのある教材としての現場(リアルな現場ではなく、教育環境としてのフィールド)のPBLなど、PBLの目的・方法・構造、成否の要因についての整理を行う。

さらに具体的にPBLの運営の問題として、テーマ教材、プログラム設計、適度な競争原理とチーム編成、ネットワーク型デジタル・ポートフォリオ(CNS)、TASAによるプロジェクト支援、教職協同による科目運営体制の問題などについても触れる。

なお、今回は、専門教育PBL(初年次教育)の実践についても紹介する。主体的な学習・研究をもたらすPBLについて具体的なサンプルを提示して意見交換していきたい。

日時:2013年 **9月6日**(金)  
14:00~17:00

会場:東北大学川内北キャンパス  
マルチメディア教育棟M401

講師:山田 和人  
(同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授)

## 【プログラム】

- ・はじめに(10分)
- ・講演:教養教育PBL(40分)
- ・講演:専門教育(初年次教育)PBL(30分)
- ・休憩(10分)
- ・PBLとポートフォリオ(評価指標)ケーススタディ(30分)
- ・PBLの学習効果と今後の課題をめぐるディスカッション(50分)
- ・まとめ(10分)

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

東北大学高等教育開発推進センター

検索

\*Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pffp\_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

東北大学高等教育開発推進センター  
大学教育支援センター  
TEL.022-795-4471 Email.pffp\_office@he.tohoku.ac.jp



主催 東北大学高等教育開発推進センター

Center for the Advancement of Higher Education  
TOHOKU UNIVERSITY